

令和7年度

## 「運営に関する計画」

大阪市立野中小学校

令和7年10月

## 現状と課題

### 【安全・安心な教育の推進】

本校はここ数年、児童は全体的に落ち着いて学校生活を送り、暴力的な行動も少なく、大きなじめの事例も見られない。

一方、人数は少ないものの、不登校児童への取り組みは、なかなか改善がみられず、不登校の要因に家庭的な背景もあることなど、複雑な問題を抱えている児童もあり、解消については、容易ではない現状がある。昨年度と同様に、児童が安心して登校できる状態を学校全体として維持しながら、区の子どもサポートネットやスクールカウンセラーなど、関係諸機関と連携しながら、多方面からアプローチを行っていく必要がある。

ここ数年は、校内アンケートの「学校は楽しいですか」では、肯定的な回答が、90%以上あった学年も多くなっている。ただ、学年によって差があるのが現状である。今年度も児童にとって、学校が楽しいもの、登校する意欲がわく場所になるよう、学校全体で取り組みを進めていきたい。

「学校のきまりを守っていますか」の昨年度のアンケート結果は、平均して肯定的回答が80%以上の学年が多くなった。しかし、他の学年に比べ、極端に低い学年もあった。これからも継続的に規範意識を高め、児童が安心して登校できる取り組みを進めていく必要があると考える。

本校は、自己肯定感、自尊心が低い傾向が何年も続いていたため、数年間、改善に向けて力を入れて取り組んでいる。昨年度の学力経年調査のアンケート結果では、「自分にはよいところがあると思う」という項目については肯定的な回答が平均して75%を超えていたが、学年ごとに見ると、際立って低い結果が出ている学年もあり、本校の課題である自尊心の向上については、今年度も、あらゆる機会や場を捉え、児童に成就感、達成感を味わわせ、児童に自信を持たせたいと考えている。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

本校は、児童が落ち着いて学習に取り組んでいることや、算数で習熟度少人数体制の指導に力を入れ取り組んでいることなどから、先日の学力経年調査においても、実施日直前に感染症の流行があり、学級休業も出ていたことから心配していたが、大阪市の平均を上回る結果を得られる教科も少なくなかった。しかし、学年によって、また個人によって学力に大きな差があることも事実である。個に応じた指導・支援を工夫していく必要がある。

また、主体的・対話的で深い学びを進めるためには、様々な教科や場面で話し合ったり、意見を交流したりする活動を持つことで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにしていく必要もある。

体力に関しては、昨年度の全国体力・運動能力調査の結果については、男子は種目別に見ると、握力、上体起こし、50m走、立ち幅とびに関しては、大阪市及び全国の平均を上回っていた。女子では握力、上体起こし、20mシャトルラン、50m走については、大阪市や全国の平均を上回っていた。

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問には、男女とも、肯定的回答の割合が大阪市や全国の平均より高い結果であり、取り組みの成果が出ていると考えられる。運動が好きで進んで運動する姿勢を育てるとともに、体力テストの結果が低かった種目に関しては、学年ごとに授業や行事、遊び時間を有効に使い、改善を促す取り組みに力を入れていくことが必要である。

### 【学びを支える教育環境の充実】

日々、一人一台端末をどの学年も活用するようにしている。今年度も、個別最適な学びと協同的な学びを実現するために、ICTの効果的な活用の工夫を行っていきたい。

学校図書館に関しては、図書館司書との連携をとりながら、図書館の活性化を図ってきた。また、図書館ボランティアの協力もあり、昨年度は毎日開館することもできた。今年度も学校図書館をさらに有効活用し、読書が好きな児童を増やしながら、様々な学習における利活用を図っていきたい。

また、昨年度は、生涯学習やはぐくみネットなど、地域の方に協力をいただき、児童の健全育成を進めることができた。今年度も、保護者や地域の方々に関わっていただく学校行事の内容を検討し、より充実した内容で実施していきたい。その様子を含め、学校の様子をホームページなどで発信し、より学校への理解と協力を得たいと考えている。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を80%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の校内調査の暴力行為を複数回行う児童の数を0にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校のきまり守っていますか」の肯定的回答をどの学年も88%以上にする。
- 令和7年度に新たに不登校になる児童の割合を0にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校は楽しいですか」の肯定的な回答を90%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を33%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和7年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を1.00以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。
- 感染症の予防について理解させ、自分の健康に关心を持つ児童を育成する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業において学習者用端末を毎日使用し、ICTの効果的な活用を図る。
- ゆとりの日を週に1回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えよう努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を85%以上にする。

## 2. 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を80%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の校内調査の暴力行為を複数回行う児童の数を0にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校のきまり守っていますか」の肯定的回答をどの学年も88%以上にする。
- 令和7年度に新たに不登校になる児童の割合を0にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校は楽しいですか」の肯定的回答を90%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を33%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和7年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を1.00以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。
- 感染症の予防について理解させ、自分の健康に关心を持つ児童を育成する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- ゆとりの日を週に1回設定する。また、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を75%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えようと努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を85%以上にする。

大阪市立野中小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を80%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度の校内調査の暴力行為を複数回行う児童の数を0にする。</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校のきまり守っていますか」の肯定的回答をどの学年も88%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度に新たに不登校になる児童の割合を0にする。</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校は楽しいですか」「すんでもいいさつしていますか」の肯定的な回答を90%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>児童が安心して落ち着いて学校生活をおくれるよう規範意識を高める。（ ）</p> <p><b>指標</b></p> <p>○児童の規範意識を高める機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回の「ふり返り週間2 ウィーク」を設ける。</li> <li>・年に2回の児童会による「あいさつ運動」「身だしなみ強調週間」の取り組みを行う。</li> <li>・毎回の児童朝会で啓発する。</li> <li>・看護当番によって登校時と休み時間に啓発する。</li> <li>・年に3回のアンケートで規範意識の高まりを調べる。 (すすんであいさつしよう。身だしなみを整えよう。)</li> </ul> <p>○いじめに対する取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ相談機能を活用し、いじめ対策委員会で情報を共有し対応する。</li> <li>・いじめアンケートを学期に1回実施する。</li> <li>・いじめ防止強調週間を設け、互いの良さを認め合い、いじめを未然に防ぐ。</li> </ul> <p>○不登校児童に対して組織的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と密に連絡を取り、連絡記録簿に記入し、職員間で情報共有できるようにする。</li> <li>・生活指導部会や不登校対策委員会を開き、早期発見に努めるとともに家庭ごとに応じた対応を学校全体で共有し取り組む。</li> </ul>	<b>B</b>

## 取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】

児童一人一人が自分に自信を持ち、人の役に立ちたいと思うことで前向きに取り組もうとする意識を育てる。 ( )

### 指標

○道徳科の教科書の内容項目に学習重点項目を設ける。

- ・「主として人との関わりに関する事」の「親切・思いやり」、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」の「生命の尊さ」を重点項目にする。
- ・低学年からの意識の高まりを調べるために、令和7年度の学校生活アンケートに「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」を加え、重点項目の学習を学校生活アンケート実施前には行うようにする。また、生活振り返り週間や学校生活アンケートの結果から分かる児童の実態に合わせて、道徳科の学習内容の順番を入れ替えて、取り組む。

B

○学年の児童の実態に応じて、児童の自信に繋げられる取り組みを行う。

- ・自分のよさを知る取り組みや「いじめについて考える日」及び「いのちについて考える日」の取り組みを行い、自分も相手も互いに大切にすることを学ぶ。
- ・人権教育で、毎年実施している学習参観日に行う道徳科の取り組みを、5月の「いじめについて考える日」及び「いのちについて考える日」と関連付けて4月もしくは6月の参観日に実施できるよう努める。

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【取組内容】①について

- ・どの内容も計画通り取り組むことができている。特に、生活振り返り週間を2週にし、ポイントを週ごとに絞ることで児童の意識が高まりやすくなっている。また、服装の決まりを示した掲示物も効果的だと感じられた。継続して啓発していく。
- ・不登校児童に対しては、スクリーニングシートで記録しているが、さらに記録簿を作成するようにしていくなど、職員間で情報共有ができる方法を考えていく。連絡がつきにくい保護者もいるため、引き続きSSWとの連携も継続していく。

### 【取組内容】②について

- ・計画通り取り組むことができているが、児童の意識の高まりがまだ目標数値より下回っている学年もある。これからも、日常のささいな場面の中に、自分自身が人の役に立っていることがあることに児童が気付くことができるよう言葉かけを行っていく。
- ・人権教育として行う参観日の実施はほとんどの学年で「いじめについて考える日」及び「いのちについて考える日」に関連付けることができている。

## 次年度への改善点

### 【取組内容】①について

### 【取組内容】②について

大阪市立野中小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を33%以上にする。</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>○令和7年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を1.00以上にする。</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。</p> <p>○感染症の予防について理解させ、自分の健康に関心を持つ児童を育成する。</p>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を追求し、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p style="text-align: center;">( )</p>	
<p>指標</p> <p>○習熟度別学習を実施し、発展活用を重視するコース、基礎基本の定着を重視するコースなど、児童が自分に合ったコースを選べるようにして、学力の定着を図る。また、個別最適な学びができるよう、学習端末を持って帰り自分に合った家庭学習ができるようにする。</p> <p>○考えを深めたり、広げたりできるように、ペア、グループ、全体で意見交流を1日に1回は取り組む。</p> <p>○教員の授業力を高めるために、計画的に研修を進めていく。また、若手研修を学期に1回実施し、指導力向上を図る。若手研修については年数に関係なく希望者は参加できるようにする。</p> <p>○英語に慣れ親しむために、外国語の教材の充実を図る。</p>	B

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

児童が進んで楽しく運動できるよう、授業や遊び時間等の工夫を行う。また、自分の健康に関心を持つ児童を育成する。( )

指標

- 児童がいろいろな運動に親しむ機会を増やすために、竹馬や一輪車などが得意な児童が発表する場を作る。
- 昨年度の体力テストで良くなかった項目（反復横跳びとソフトボール投げ）の得点を向上させるために、手立てを考えて実践する。
- 運動の楽しさを味わうことができるよう、遊びの幅を広げたり、授業の指導法を工夫したりする。
  - ・遊びカードを作成し、様々な遊具を使って遊ぼうとする意欲を育てる。
  - ・運動が得意な児童が、苦手な児童に教える場を作り、どちらの児童も達成感を味わうことができるよう工夫する。
- 清潔しらべを毎週1回実施し、感染予防の意識をもつことができるようする。また、結果を児童に返すことで、更に意識を高めることができるようする。

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容】①について

- 習熟度別学習に取り組み、個に応じた指導により、学力の定着を図っている。学習端末を授業・家庭で活用できている。
- ペア、グループ、全体での意見共有や考えを深めたり広げたりする活動をするようにしているが、考えを深めるまでには至っていない。
- 研修は図工以外にも様々な研修を実施し、計画通り進めてきている。メンター研では実践的なことをたくさん行うことができた。
- 外国语の教材については、絵本の読み聞かせを動画にして、だれでも使えるようにした。

【取組内容】②について

- ・計画通り進めることができている。
- ・体力テストは、各クラスで取り組むことができているが、学校全体での取り組みもあつたほうがよい。（タオルを振る、ドッジボールを学年対抗で行うなど投げる力をつけていくなど。）
- ・清潔調べは計画的に進めることができているが、手洗いができない児童もいるので啓発が必要。

次年度への改善点

【取組内容】①について

【取組内容】②について

大阪市立野中小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○ 授業において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）</p> <p>○ ゆとりの日を週に1回設定する。また、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○ 校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えようと努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を82%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向6 教育DX】</p> <p>ICTを効果的に活用し、児童の学習意欲を高め、個別最適な学びおよび協同的な学びを進めていく工夫をする。（ ）</p> <p>指標</p> <p>○ 授業で毎日学習者用端末を活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じて教科書の問題を端末で解答させたり、デジタルドリルで問題に取り組ませたりして、学力の定着を図る。</li> <li>・児童用デジタル教科書（5, 6年 算数・英語）を活用する。</li> <li>・ICT支援員をクラスに割り当てて活用する。</li> </ul> <p>○ 指導者用デジタル教科書を活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型テレビに映し、視覚的にもわかりやすくして学力の定着を図る。</li> </ul> <p>○ 教員のICT研修を実施し、活用能力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修日を学期に1回開く。</li> <li>・ショート研修によって教員のICT活用能力の向上を図る。</li> </ul>	B
<p>取組内容② 【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>学びの場として、学校図書館を活性化し、授業での様々な学習における利活用を促進する。（ ）</p> <p>指標</p> <p>○ 毎日昼休みに図書委員会による図書館開放をすることで、読書をする環境を整え、本を読む機会を増やす。</p> <p>○ 年に1回読書週間を設け、全校児童で本の紹介カードを書き、読み合うことで読書への興味関心を高めるようにする。</p> <p>○ 図書館だよりで面白い本や楽しい本の紹介をし、本に関する知識を増やすようにする。</p>	B

取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協同した教育の推進】

保護者や地域との交流を深め、地域の一員としての自覚を高めるとともに、学校の様子をより理解してもらえるよう情報発信の仕方を工夫する（ ）

指標

○地域との交流を行う。

・読み聞かせ・昔あそび・収穫祭・おももパーティー・ステンシル体験・リバーウォッチャー等

B

○学校だよりを地域で回覧してもらう。

○学校ホームページで情報を発信する。

・学校ホームページの閲覧数を1週間で100以上にする。

・学校だより・学年だよりを学校ホームページで閲覧できるようにする。

○学校からの配布プリントをミマモルメで配信し、保護者が必要な時に閲覧できるようにする。

○地域とのボランティア活動(縦割り班清掃・地域清掃など)を実施する

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容】①について

学習者用端末の活用する頻度が上がってきてている。しかし、デジタルドリルの活用での学力の定着は個人差が出てきている。ICT支援員さんの協力も得て、端末の活用ができるようにしていく。

ICT研修はどんなことに需要があるのかを調査して、研修(ショート研修)を開けるようにしていきたい。

【取組内容】②について

図書館開放や図書館司書による読み聞かせ等、児童の読書への興味関心を高める取り組みが進められている。さらに学びの場として学級で図書館を活用できるよう、SKIP掲示板で情報発信をしていくようにしたい。

【取組内容】③について

地域交流や地域とのボランティア活動は概ね計画通りに実施することができている。11月12日には地域清掃に取り組む予定であり、地域の一員としての活動ができるようになる。

学校の情報は、学校だよりやホームページで発信できているが、閲覧に至るまでの工夫を考えていく必要がある。また、活動を記録に残すことのできるデジタル機器の整備が必要である。

配布プリントについてはミマモルメの活用を進めている。用途と目的に応じて紙媒体との使い分けをしていく。

次年度への改善点

【取組内容】①について

【取組内容】②について

【取組内容】③について